

老人センター祭り・多悠連合同作品展

3月3日から6日の4日間、総合福祉センターで、老人センター祭りおよび作品展を開催しました。

老人センター祭りでは、開催している教室(民謡・詩吟・軽運動・フラダンス・唱歌)に通う方々の発表や、囲碁、将棋、麻雀大会を行い300人以上の参加者が交流を深めました。

作品展には多治見市悠光クラブ連合会会員の作品や、老人センター教室(写真・編物・絵手紙・習字・小物・水彩画)、サークル(表装・俳句・七宝・習字・水彩画)の力作を展示し、600人を超える来場者がありました。



障害者センター教室紹介

サウンドテーブルテニス教室

サウンドテーブルテニスとは、おもに視覚障がいの方が行う競技で、台上でボールを転がしネットの下を通して打ち合う競技です。玉は通常の卓球の玉と同じように見えますが、転がるとコロコロと音がして視覚障がいの方にも玉の来る事が解るようになっています。

現在障害者センターには、4人の視覚障害の方がボランティアさんと共にサウンドテーブルテニスを楽しんでいます。みなさんは「体を動かす時があまりないので良い運動になる」「(仲間と一緒に運動していると)ストレス解消になる」との声が聞かれます。



共同募金配分金事業

『ひとり親家庭 新入学お祝い会』の報告

2月22日(日)、総合福祉センター(太平町)でひとり親家庭の4月から小学一年生になる子どもとその保護者や家族を対象に『新入学お祝い会』を開催しました。

愛知淑徳大学童話会「かみひこーき」による人形劇や読み聞かせ・レクリエーションで体を動かしたりし交流を図りました。

軽食を食べ懇親を深め、主役である新一年生ひとりひとりに入学後の抱負を元気よく発表してもらい、楽しいひと時を過ごしました。

